

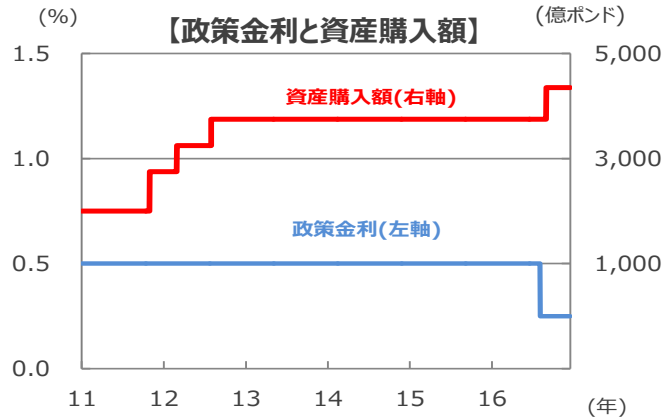
今日のトピック BOEの金融政策（2016年12月）

金融政策は現状維持、当面様子見姿勢か

ポイント1 金融政策は現状維持

政策金利、量的緩和規模とも維持

- イングランド銀行（BOE、イギリスの中央銀行）は、15日の金融政策委員会で、政策金利を0.25%に据え置きました。また、国債などの資産を買い取って金融市場に資金を供給する量的緩和の規模は4,350億ポンド、別途の社債購入枠は100億ポンドをそれぞれ維持しました。金融政策の据え置きは市場の予想通りでした。



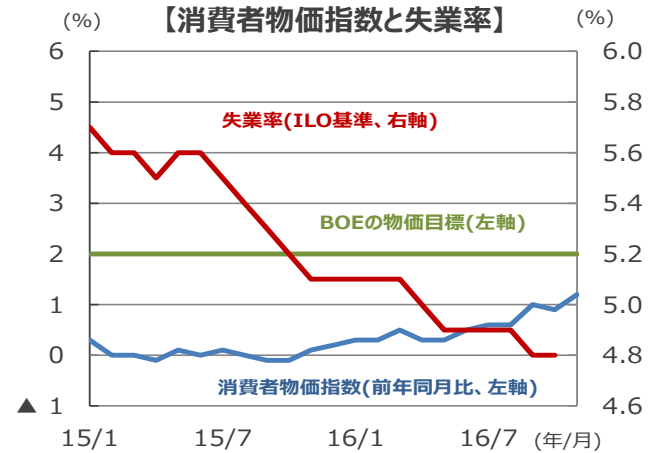
(注) データは2011年1月2日～2016年12月15日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 失業率は上昇する見通し

物価は目標水準に向けて上昇

- 英国の10月の失業率は4.8%と、緩やかに低下してきています。一方、BOEは2018年半ばごろには5.5%程度まで上昇し、2019年にかけて同水準が続くと見えています。
- 英国の11月の消費者物価指数は前年同月比+1.2%と、前月の同+0.9%から上昇しました。BOEは、2018年には2.75%程度まで上昇し、2019年には2.5%程度に緩やかに低下して、BOEの目標水準に近づく見えています。



(注) データは、2015年1月～2016年11月。失業率は2016年10月まで。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 今後成長は緩やかに減速、当面は金融政策は据え置きの見込み

- BOEは、英国経済は短期的には緩やかなペースで成長を続けるものの、2017年初め以降は成長ペースが減速すると見えています。また、家計の実質所得の伸びは鈍化し、家計支出が弱くなると見えています。一方、英国がEU離脱を選択した6月以降続くポンド安により、物価は上昇してきており、今後半年程度でBOEの物価目標水準を超えると見られます。直近の経済指標からは、経済環境に大きな変化はないと見られ、BOEの金融政策は当面据え置かれると考えられます。

**ここもチェック! 2016年12月9日 ECBの金融政策（2016年12月）
2016年11月8日 「ハードブレグジット」（欧州）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。